



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社デンソー 上場取引所 東・名  
 コード番号 6902 URL http://www.denso.co.jp  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 宣明  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 浅若 正識 (TEL) (0566) 25-5850  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(記載金額は百万円未満を四捨五入表示)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,987,862	14.7	192,187	41.0	214,637	43.8	150,082	92.2
25年3月期第2四半期	1,733,129	23.0	136,270	327.7	149,244	279.3	78,073	235.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 261,575百万円( -%) 25年3月期第2四半期 13,071百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	188.52	188.39
25年3月期第2四半期	96.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,294,893	2,655,109	59.0
25年3月期	3,979,093	2,426,861	57.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,533,346百万円 25年3月期 2,300,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	27.00	—	37.00	64.00
26年3月期	—	47.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表の「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,010,000	12.0	360,000	37.2	391,000	32.1	264,000	45.3	331.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3. 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	884,068,713株	25年3月期	884,068,713株
26年3月期2Q	87,649,330株	25年3月期	88,582,234株
26年3月期2Q	796,105,317株	25年3月期2Q	805,900,007株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、平成25年7月31日の平成26年3月期第1四半期の決算発表時に公表した数値から本資料において修正しています。連結業績予想の修正については、本日 (平成25年10月31日) 公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(配当予想額について)

平成25年7月31日の平成26年3月期第1四半期の決算発表時に公表した数値から本資料において修正しています。本日 (平成25年10月31日) 公表の「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成25年10月31日に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

「参考」個別業績予想

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	2,443,000	7.3	207,000	67.4	275,000	40.5	203,000	39.0	254	89

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、平成25年4月に「地球環境の維持と成長の両立」と「一人ひとりが幸せで、安心・安全に暮らせる社会」を目指す姿とした「デンソーグループ2020年長期方針」を発表しました。そして、今後3年間で達成すべき目標や取り組むべき施策を「デンソーグループ・グローバル中期方針」としてまとめ、「持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ」「世界初を生み出し続ける企業への進化」「グローバルな総智・総力の発揮とスピード経営の実現」を掲げ活動を進めています。

当第2四半期連結累計期間の業績については、車両生産台数の増加や、円安効果により、売上高は、1兆9,879億円（前年同四半期比2,547億円増、14.7%増）と増収になりました。営業利益は、経費・労務費の増加があったものの、売上増加による操業度差益や円安による為替差益や合理化努力等により、1,922億円（前年同四半期比559億円増、41.0%増）と増益、経常利益は2,146億円（前年同四半期比654億円増、43.8%増）、四半期純利益については、1,501億円（前年同四半期比720億円増、92.2%増）といずれも増益になりました。

セグメント別の業績については、日本は、国内車両生産台数は減少したものの、海外向け売上の増加や円安効果により、売上高は1兆3,298億円（前年同四半期比958億円増、7.8%増）と増収になりました。営業利益は、経費・労務費の増加があったものの、円安による為替差益や合理化努力等により1,437億円（前年同四半期比496億円増、52.8%増）と増益になりました。

北米地域は、好調な経済による車両生産の増加や、円安効果により、売上高は4,028億円（前年同四半期比1,020億円増、33.9%増）と増収、営業利益は、売上増加による操業度差益等により93億円（前年同四半期比24億円増、34.8%増）と増益になりました。

欧州地域は、低迷した市場が底を打ったことに加え、円安効果により、売上高は2,345億円（前年同四半期比614億円増、35.5%増）と増収、営業利益は、売上増加による操業度差益等により37億円（前年同四半期比23億円増、172.3%増）と増益になりました。

豪亜地域は、新興国における市場の成長に伴う車両生産の増加や、円安効果により、売上高は4,572億円（前年同四半期比1,020億円増、28.7%増）と増収、営業利益は、売上増加による操業度差益等により377億円（前年同四半期比38億円増、11.1%増）と増益になりました。

その他地域は、売上高は396億円（前年同四半期比95億円増、31.6%増）と増収、営業利益は、製品構成の悪化等により、11億円（前年同四半期比6億円減、36.2%減）と減益になりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,158億円増加し、4兆2,949億円となりました。

負債については、社債の新規発行等により、前連結会計年度末に比べ876億円増加し、1兆6,398億円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,282億円増加し、2兆6,551億円となりました。

### (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、第2四半期の業績と為替の変動を踏まえ、売上高は、4兆100億円（前期比4,291億円増、12.0%増）、営業利益は3,600億円（前期比976億円増、37.2%増）、経常利益は3,910億円（前期比950億円増、32.1%増）、当期純利益は2,640億円（前期比823億円増、45.3%増）に上方修正いたします。通期の前提となる為替レートは、1US\$=97円、1ユーロ=130円です。

なお、上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれています。今後の事業運営や為替の変動等内外の状況変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。）が平成25年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上しました。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上したことに伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しています。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金等に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首のその他の包括利益累計額が21,959百万円減少、利益剰余金が29,903百万円増加、少数株主持分が452百万円減少し、合計で純資産の額が7,492百万円増加しています。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	665,152	647,028
受取手形及び売掛金	586,312	604,160
電子記録債権	53,738	48,557
有価証券	430,052	485,424
たな卸資産	370,662	397,394
その他	177,798	178,974
貸倒引当金	△1,828	△1,719
流動資産合計	2,281,886	2,359,818
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	341,227	361,587
その他(純額)	544,933	593,923
有形固定資産合計	886,160	955,510
無形固定資産		
	15,456	21,403
投資その他の資産		
投資有価証券	653,299	804,285
その他	142,616	154,187
貸倒引当金	△324	△310
投資その他の資産合計	795,591	958,162
固定資産合計	1,697,207	1,935,075
資産合計	3,979,093	4,294,893
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,603	459,713
1年内償還予定の社債	100,000	140,000
短期借入金	56,272	95,229
未払法人税等	55,128	48,057
賞与引当金	59,766	60,830
役員賞与引当金	641	397
製品保証引当金	56,847	57,979
その他	188,289	192,960
流動負債合計	973,546	1,055,165
固定負債		
社債	90,000	80,000
長期借入金	261,248	225,586
退職給付引当金	197,248	—
役員退職慰労引当金	1,811	1,451
退職給付に係る負債	—	203,811
その他	28,379	73,771
固定負債合計	578,686	584,619
負債合計	1,552,232	1,639,784

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	187,457	187,457
資本剰余金	267,332	268,488
利益剰余金	1,933,814	2,084,225
自己株式	△224,505	△222,149
株主資本合計	2,164,098	2,318,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,354	314,345
繰延ヘッジ損益	17	50
為替換算調整勘定	△90,405	△76,215
退職給付に係る調整累計額	—	△22,855
その他の包括利益累計額合計	135,966	215,325
新株予約権	2,293	919
少数株主持分	124,504	120,844
純資産合計	2,426,861	2,655,109
負債純資産合計	3,979,093	4,294,893



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,733,129	1,987,862
売上原価	1,460,879	1,620,490
売上総利益	272,250	367,372
販売費及び一般管理費	135,980	175,185
営業利益	136,270	192,187
営業外収益		
受取利息	3,840	4,235
受取配当金	4,064	6,816
為替差益	1,212	6,211
持分法による投資利益	2,181	2,984
その他	8,206	9,493
営業外収益合計	19,503	29,739
営業外費用		
支払利息	3,209	3,508
固定資産除売却損	1,615	1,595
その他	1,705	2,186
営業外費用合計	6,529	7,289
経常利益	149,244	214,637
特別利益		
固定資産売却益	547	16
特別利益合計	547	16
特別損失		
投資有価証券評価損	12,419	62
特別損失合計	12,419	62
税金等調整前四半期純利益	137,372	214,591
法人税、住民税及び事業税	41,442	56,847
過年度法人税等	6,109	3,610
法人税等調整額	3,741	△6,787
法人税等合計	51,292	53,670
少数株主損益調整前四半期純利益	86,080	160,921
少数株主利益	8,007	10,839
四半期純利益	78,073	150,082

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,080	160,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,514	88,113
繰延ヘッジ損益	416	33
為替換算調整勘定	△35,226	10,807
退職給付に係る調整額	—	△770
持分法適用会社に対する持分相当額	△685	2,471
その他の包括利益合計	△73,009	100,654
四半期包括利益	13,071	261,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,429	251,400
少数株主に係る四半期包括利益	4,642	10,175

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	137,372	214,591
減価償却費	82,536	89,907
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,932	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	8,388
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△5,087	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△10,400
受取利息及び受取配当金	△7,904	△11,051
支払利息	3,209	3,508
為替差損益 (△は益)	6,122	2,108
持分法による投資損益 (△は益)	△2,181	△2,984
有形固定資産除売却損益 (△は益)	644	732
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△752	△65
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	12,419	62
売上債権の増減額 (△は増加)	66,159	1,547
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,847	△9,095
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,332	△18,766
その他	△28,295	△7,100
小計	231,995	261,382
利息及び配当金の受取額	9,361	12,803
利息の支払額	△3,216	△3,482
法人税等の支払額	△31,233	△67,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,907	203,699
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△102,116	△149,620
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△373,068	△516,108
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	324,045	389,066
その他	△35,611	28,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,750	△248,021
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,797	2,702
長期借入れによる収入	849	27,262
長期借入金の返済による支出	△1,114	△32,145
社債の発行による収入	—	30,000
社債の償還による支出	△50,000	—
自己株式の取得による支出	△6	△19
ストックオプションの行使による収入	—	3,009
配当金の支払額	△18,536	△29,434
少数株主への配当金の支払額	△8,005	△8,681
その他	271	503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,744	△6,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,009	7,056
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△65,596	△44,069
現金及び現金同等物の期首残高	665,409	707,330
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	599,830	663,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、総額29,434百万円の剰余金の配当を行っています。また、第1四半期連結会計期間の期首より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、期首の利益剰余金の額が29,903百万円増加しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	欧州	豪亜	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	916,539	295,647	162,801	328,120	1,703,107	30,022	1,733,129
(2) セグメント間の内部売上高	317,493	5,136	10,332	27,134	360,095	58	360,153
計	1,234,032	300,783	173,133	355,254	2,063,202	30,080	2,093,282
セグメント利益	94,016	6,907	1,355	33,899	136,177	1,756	137,933

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	136,177
「その他」の区分の利益	1,756
セグメント間取引消去	△1,663
四半期連結損益計算書の営業利益	136,270

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	欧州	豪亜	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	917,263	394,685	220,774	415,680	1,948,402	39,460	1,987,862
(2) セグメント間の内部売上高	412,540	8,100	13,771	41,559	475,970	136	476,106
計	1,329,803	402,785	234,545	457,239	2,424,372	39,596	2,463,968
セグメント利益	143,652	9,312	3,690	37,652	194,306	1,121	195,427

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	194,306
「その他」の区分の利益	1,121
セグメント間取引消去	△3,240
四半期連結損益計算書の営業利益	192,187

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

P3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しています。当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微です。